



今年ほど異様なゴールデンウィークはなかったと思います。学校はまだ授業ができない状態ですし、企業もテレワークや場合によっては休業を余儀なくされています。「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が5月31日まで延長されました。それを受けて、大阪府で行われてきた「緊急事態措置」も継続されることとなり、日常の生活を取り戻せるのはまだまだ先になりそうです。これまでと同様の徹底した行動制限が求められています。引き続き、手洗いや他人との距離の確保といった基本的な感染対策を続けながら、生活や健康の維持に必要な最低限の外出にとどめるようにしましょう。なかでも、3密（密閉、密集、密接）の条件が重なりやすい場所への外出は、強く自粛を要請します。人と人との接触を8割減らすため、仕事についても、できるだけ在宅勤務（テレワーク）や時差通勤を活用してください。事業者のみなさんは、非常に厳しい経営環境に置かれていると思いますが、様々な給付金や融資制度が設けられていますので、それらを活用しながら、来るべき事業再開に向けた準備を進めていただきたいと思います。<https://www.jizokuka-kyufu.jp/>（持続給付金）



何か自宅でやることを見つけないと、撮り貯めた番組を見るだけでは限界を感じてきました。なので、家族で餃子を作ってみました。なかなか先が見えず、つらい日々が続きますが、何か新しいものを見つけたら、工夫して乗りたいと思っています。皆さん頑張ってください。



ご家庭でのマスク等の捨て方について

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した方やその疑いのある方などがご家庭にいらっしゃる場合、鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、以下の『ご家庭でのマスク等の捨て方(環境省チラシ)』に沿って、「ごみに直接接触れない」、「ごみ袋はしっかりしばって封をする」そして「ごみを捨てた後は手を洗う」ことを心がけましょう。

ごみの捨て方

①ごみ箱にごみ袋をかぶせませす。いっぱいになる前に早めに②のとおりごみ袋をしばって封をしましょう。



②マスク等のごみに直接接触れることがないようにしっかりしばります。



③ごみを捨てた後は石鹸を使って、流水で手をよく洗いましょう。



※万一、ごみが袋の外に触れた場合は、二重にごみ袋に入れてください。

- 1.ごみ箱にごみ袋をかぶせませす。いっぱいになる前に早めに(2)のとおりごみ袋をしばって封をしましょう。
- 2.マスク等のごみに直接接触れることがないようにしっかりしばります。注記: 万一、ごみが袋の外に触れた場合は、二重にごみ袋に入れてください。
- 3.ごみを捨てた後は石鹸を使って、流水で手をよく洗いましょう。

ごみを収集・分別・処分をしている作業員の方々への感染を防止するために

- (1)ご使用になられたマスク・ティッシュ等感染拡大の疑いがあるごみは別袋に入れて密閉し、ごみ袋に入れて出してください。
- (2)ごみ袋の空気をできるだけ抜いてから、袋の口をきつくしばって出してください。
- (3)ごみがカラス等に荒らされないように工夫をしてください。

周辺地域の方々への感染を防止するために

ごみ(使用後のマスクやティッシュ等)を路上や公園等にポイ捨てることは絶対にやめてください